

平成 29 年度 学校評価計画

小美玉市立下吉影小学校 校長 青葉 宏一

1 学校教育目標

郷土に誇りをもち、確かな学力を身に付け、心豊かで、心身ともにたくましい児童を育成する。
【教育スローガン】「知・徳・体 バランスのとれた教育活動の実践」～今日が楽しく明日も楽しみな学校づくり～

2 目指す学校像, 児童・生徒像, 教師像

学校像	<input type="checkbox"/> 誰もが安心して安全に過ごせる学校 <input type="checkbox"/> 一人一人の人権が尊重され 心を豊かに育む学校 <input type="checkbox"/> 主体的・対話的な授業が展開される学校
児童・生徒像	<input type="checkbox"/> よく学ぶ子 <input type="checkbox"/> 思いやりのある子 <input type="checkbox"/> 健康で明るい子 <input type="checkbox"/> 自主性・自立性のある子
教師像	<input type="checkbox"/> 子どもを思いやる人間性豊かな教師 <input type="checkbox"/> 使命感に燃え自己研鑽に励む教師 <input type="checkbox"/> 判断力があり変革に対応できる教師

3 学校の現状

- 本校は、普通学級 5, 特別支援学級(知) 1, 全校児童 76 名の小規模校であり自然豊かな環境にある。校舎が現在地に設置され 14 年目を迎え、修理を要する箇所も出てきている。
- 「児童」については、素直で優しい気持ちをもった子が多い。また、4 年生以上の児童たちは、3 つの実行委員会(稲作, ミュージカル, 運動会)に所属しており、責任をもって自分の役割を果たすことができる。
- 「教師」については、若手とベテランが互いに学びあう雰囲気がある。また、常に子どもと向き合い、熱心に教育活動に取り組んでいる。
- 「保護者・地域」については、協力的で、学校行事やボランティア活動等に積極的に参加する方が多い。

4 前年度の成果と課題

- 学力の向上と教師としての力量の向上
学力診断のためのテストでは、算数において第 5・6 学年が県平均を上回ったが、国語では全学年が県平均を下回った。国語では、特に書く力に課題が見られる。自分の考えや要点をノート等にまとめるなど書く活動の充実を図る。また、どの授業においても子供同士が互いに学び合う体制を構築し、主体的・対話的な学習活動を確立する必要がある。そのための授業改善が課題である。
- 豊かな心の育成
道徳や人権教育、特別活動の充実が豊かな心の育成につながった。さらに、「ほめて伸ばし夢を育む教育」の推進や全校ミュージカル等の感動体験を通して、豊かな心や社会を生き抜く力の育成を目指す。
- 体力の向上
「ふれあいタイム」(業間・縦割り班活動)等での遊びを通して体力づくりに努めたが、学年によって運動能力に差が見られる。授業の中で運動量を確保するとともに苦手な種目の補強運動を導入する必要がある。
- 開かれた学校づくり
毎年、稲作づくりや下吉祭りでは、多くの学校ボランティアの方々に協力をいただき、学校行事を運営することができている。さらに、魅力あるホームページを作成し信頼ある学校づくりに努める。

5 組織目標

番号	内 容	実施期間				
		26	27	28	29	30
1	授業力を高め、主体的・対話的な授業を実践し、確かな学力の習得と活用する力の育成を目指す。	○	○	○	○	○
2	体験活動を重視し、豊かな心や社会を生き抜く力の育成を目指す。	○	○	○	○	○
3	体育・保健・食育の指導を充実させ、健やかな体の育成を目指す。	○	○	○	○	○